

ぼらっと

2015年
9月24日発行
62号



発行元 〒020-0541 雫石町千刈田 82-2
雫石町総合福祉センター内
雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎：692-2230/FAX：691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp



☆ぼらっとーキング☆

今回は第1回～第3回災害ボランティア講習会講師の広田泉先生を交えて、8月8日(土)に開催された第3回災害ボランティア講習会に参加していただいた細川愛留さん(雫石中3年)と、7月31日(木)に開催された青少年ボランティアスクールにも参加していただいた徳田鞠菜さん(雫石中3年)にお話を伺いました。

◎みなさん第3回目の講習会、大変お疲れ様でした！参加したきっかけを教えてください。

細川…チラシを見たのがきっかけです。私は福祉活動とか、環境に関する活動、ボランティア活動が好きなので、参加を決めました。そして友達に声をかけました。

徳田…誘われるまでこういう講習会があるのを知らなかったのですが、誘われて参加を決めました。

◎受講してみたの感想を教えてください。

徳田…内容がすごく難しかったのですが、自分でも出来ることがあったら活動してみたいと思いました。



雫石中学校3年
徳田 鞠菜さん

広田…素晴らしい！友達を連れて活動してくれたら最高に嬉しいです。活動する人たちに若い人がなかなかいないので、若い人が活動することはすごく嬉しいです！

◎中学生の参加はとても嬉しかったです！細川さんはどうでしたか？

細川…リーダーについての講習会でしたが事前の準備とか、細かいところまで考えなければいけないんだなと思いました。あとは県外からの参

加者がいてびっくりしました。

雫石中学校3年
細川 愛留さん



広田…たまに事故も起こるけど、今日の話みたいにリーダーは色々なことを考えなければならないです。でもスポーツとかと同じで、個々が好き勝手やってもまとまらないので、必ずまとめるリーダーの存在は必要ですね。

◎8、9のときに雫石で活動してくれた方たちが今回も遠方から来てくれました。こういう人のつながりも大切だと思います。徳田さんは青少年ボランティアスクールにも参加してもらいましたが感想を教えてください。

徳田…高齢者疑似体験では、歩くことの大変さや目が見えないことで商品を探す大変さがよく分かりました。妊婦さんはお腹が大きくて落ちた物を拾うのが大変だったし、車いすは曲がる時の操作が難しかったです。

◎体験をしてみて、自分にもしてあげられると思ったことは何かありますか？

徳田…体験をして苦労がよく分かったので、困っていたら積極的に助けてあげたいです。

◎細川さんには雫石町のいいところを聞きたいです！

細川…小岩井農場も一本桜もお祭りも温

泉もスキー場もあるし、いい町だと思います。昔から大切にされているものを大切にしている町なので、いつか外に出たとしても戻りたいなあと思います。それに困った時に助けてくれる人がいる雫石町は安心できる町なんだと思います。

◎「遠くのスーパーマンよりご近所さん」ですからね。では広田先生最後に一言お願いします！

広田…社協では色々な事業をやっているので、チラシとかを見て、自分でやりたいことや勉強したいことに参加して、知識をつけてどんどん自信をつけて欲しいです。今回の講習会でも、「誰かの力になれるかな？」よりも「誰かの力になれる気がする！」という自信をつけてくれたら嬉しいです！

災害ボランティア講習会

講師：広田 泉さん



◎ボランティア活動に対して積極的な2人。こんな中学生がたくさん増えてくれるといいなと思いました♪最後に3人でパチリ☆



平成27年度雫石町青少年ボランティアスクール活動報告

7月30日(木)に平成27年度雫石町青少年ボランティアスクールがイオンモール盛岡様の協力のもと開催され、雫石中学校の生徒さん17名が参加しました。今年度は、2016年に全国障害者スポーツ大会アーチェリー競技が雫石町で開催されることにともない、ハンディを持った方の疑似体験を通して、自分に何が出来るかをみなさんに考えてもらうことを目的に開催しました。

—講話—

講師に障害者支援施設うぐいすの郷 赤坂絹子氏をお迎えし、高齢者・妊婦・車いすの方の大変なこと、接するときのマナーなどを教えて頂きました。



—高齢者疑似体験—

いきいき岩手支援財団 玉山公一氏にご指導頂き、高齢者疑似体験装具を装着し、お買い物へ出発！手先が上手く動かない…目が見えづらい…歩くのも大変…高齢者の方の苦労を体験しました。



—妊婦・車いす体験—

私たちが日常で普通に行っていることが、妊婦さんや車いすを使っている方には、ものすごく大変ということをもっと体験することができました。



—グループワーク—

体験を通して気付いたことを、グループごとにまとめました。自分に出来ることとして、「ハンディを持った方の苦労が分かったので、困っていたら声をかけてあげる」という声がたくさん上がりました。



平成27年度第3回災害ボランティア講習会が開催されました！！

第3回目のテーマは「災害ボランティアリーダー」。講義とロールプレイングゲームを通して、災害ボランティアリーダーについて学びました。表面のインタビューにも掲載している通り、今回は中学生にも参加していただき、若い世代の意識の高さも垣間見ることが出来ました。



8月8日(土)に第3回災害ボランティア講習会を開催し、23名の方が受講されました。

講習会では、「災害ボランティアリーダー」の役割をテーマに、講師の広田泉先生から指導頂きました。

災害ボランティアリーダーの役割は、ボランティアグループ・活動先・災害ボランティアセンターとの**通信、活動の段取り、活動報告**などがあり、「かなりリーダーは嫌だ」ということについてみなさんからは、**自分の意見ばかり通す、指示をくれない、危険予知が出来ない**などが挙げられました。また、災害ボランティアリーダーは「土地勘がある、方言や地域を知っている」等の理由から地元の方が理想的ということも教えていただきました。



最終回の第4回目は、9月12日(土)に開催されました。次号で詳しくご紹介いたしますので、お楽しみに☆

ロールプレイングゲームでは、一人ひとりが災害ボランティアリーダーの立場となり、講義で教わった**段取り**や**様々なアクシデントへの対応策**を考えました。

参加者からは「災害ボランティアも段取りが9割だということ。何事も準備が大事ということを再認識」「地元の方と面識が有る・無いとでは依頼主への接し方が異なる。」などの感想がありました。

